





Windows Live メール 2009を 起動







アカウントで**追加**を選択し アカウントの追加で**電子メールアカウント** を選択

アカウント 図 電子メール アガウンドやニュースグループを新しく登録するには、EB加」をグリックします。iB加したアカウンドやニュースグループを編集、エクスボート、副卵余をグリックしてから、希望の動作をグリックします。 iB加したアカウンドやニュースグループを新しく登録するには、対象をグリックしてから、希望の動作をグリックします。 ニュース ニュース iB加したアカウンドやニュースグループを新しく登録するには、対象をグリックしてから、希望の動作をグリックします。 マイクロソフト ジェニティ (既定のアカウンド) マイロリンフト ジェニティ (既定のアカウンド) アイレクトリ サービス ブロパティ(P) 反注意定(D) インボート(D) 「ガンボート(E) 開じる	アカウントの追加 アカウントの運賃の選択 追加するアカウントの種類を選択してください。 エースグループ アカウント ディレクトリ サービス アカウント ディレクトリ サービス アカウント アカウントのセットアップに必要な情報の表示
	アカウントのセットアップに必要な情報の表示 次へ(N) キャンセル

STEP 4	設定資 を選択	料の通り ①②を入力し 次へ
Í	🎧 電子メール アカウントを追加	23 5 5 6 1
	電子メール アカウント情報 電子メール アドレス(E): パスワード(P): このアカウントから送信され 表示名(D):	聴以下に入力してください。
	▼電子メール アカウント(Dサーバー設定を手動で構成する(C) 次へ(N) キャンセル
	※ パスワー	·ド入力時、セキュリティ保護のためパスワードは(●)で表示されます。

STEP 5 設定資料の通り②④⑤を入力し次へ を選択→完了

● 電子メール アカウントを追加する	● 電子メール アカウントを追加する
電 <u>子メール サーバーの情報版こついて</u> 受信サーバー情報	アカウントのセットアップに必要な情報の入力が完了しました。
受信メール サーバーの種類(M) POP3	
ログイン ID (電子メール アドレスと異なる場合)(L): (2) taro@interline.or.jp 送信サーバー情報	
送信サーバー(Q): 587 このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(Q) 図 送信サーバーは認証が必要(V)	第7(F) キャンセル
次へ(N) キャンセル	



メール interline.or.jp(taro) (既定の アカウント)) V)
ニュース		(P) E(D)
ディレクトリ サービス	✓ インボート エクスボート	(I) (E)



全般を選択し 設定資料通りに①を入力

メール アカウント これらのサーバ Windows Live	ーに覚えやすい名前を付けてください (例: 仕事、 Hotmail)。
ユーザー情報 名前(N): 会社(O):	Taro Yamada
電子メール アドレス(M): 返信アドレス(Y):	1 taro@interline.or.jp
☑ メールの受信時および同	期時にこのアカウントを含める(1)

「メール アカウント」

わかりやすい名前を入力します 例) INTERLINE

「ユーザー情報」

●名前(N):
 名前がローマ字で入力されていることを確認します
 例) Taro Yamada

- ●会社(O): 必要に応じて入力します
- ※ 個人で使用する場合は空欄にします。 ●電子メール アドレス(M):
 - メールアドレス(設定資料①)を入力します 例) taro@interline.or.jp

 ●返信アドレス(Y): 空白
 ※電子メールアドレスで設定したアドレスとは別のアドレスに返信して もらいたい場合などに設定します。

●メールの受信時および同期時にこのアカウントを含める(I): チェックを入れます





接続を選択 設定を確認し**OK**を選択

接続	. ርወዎታታን	小が、LAN また	-は所定のら	(イヤルアップ	接続を必	要として	
3	いる場合、	既定の Intern	et Explorer	接続設定を	無視する	ことがで	 ● このアカ 通常はき
55	のアカウントには ニュー・エース イ	こ次の接続を使	用する(U): N)				※ 通常使用し チェックを入 チェックを入
	ジルエッア 4 設定(S)) 〕 〕 追加([))]		Ŧ		

●このアカウントには次の接続を使用する(U): 通常はチェックを入れません

※ 通常使用している接続方法とは別の接続方法でインターネット接続したい場合は、

チェックを入れた場合は、ご利用になる接続方法を選択してください。

STEP 詳細設定を選択 10 設定資料④⑤のポ 入力しOKを選択-	〜ート番号 を →完了
taro@interline.or.jp プロパティ 金般 サーバー 接続 セキュリティ 詳細設定 サーバーのボート番号 送信メール (SMTP)(Q): 587 ⑤ 既定値を使用(U) このサーバー(オセキュリティで(保護された接続 (SSL) が必要(Q) 受信メール (POP3)(D) このサーバー(オセキュリティで(保護された接続 (SSL) が必要(Q) 受信メール (POP3)(D) 近のサーバー(オセキュリティで(保護された接続 (SSL) が必要(O) サーバー(オセキュリティで(保護された接続 (SSL) が必要(O) サーバー(オセキュリティで(保護された接続 (SSL) が必要(O) サーバー(オセキュリティで(保護された接続 (SSL) が必要(O) せんのタイムアウト(D) 短い 反い 近のサイズよりメッセージが大きい場合は分割する(B) 低 日後 じつみ箱」を空にしたら、サーバーから削除(M) OK 本ャンセル 適用(A)	 「サーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(Q)」: チェックしません 送信メール (SMTP)(O): 587 を入力します ※ チェックを入れてから数値 [587] の入力をおこなってください。 数値が変更されてしまいます。 その場合は、チェックを入れたりはずしたりすると、数値が変更されてしまいます。 その場合は、チェックを入れた状態で [587] ともう一度入力してください。 受信メール (POP3)(I): 110 を入力します このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(C): チェックしません